

介護職員初任者研修 研修カリキュラム(科目別シラバス・科目別特徴等)

事業者名:公益財団法人東京しごと財団

令和7年4月1日現在

担当科目 (項目・科目番号、科目名)	時間 数	科目別特徴	指導体制
1(1)多様なサービスの理解	3	国の介護施策とその動向、介護サービスの全体像をとらえる。	講師1名
1(2)介護職の仕事内容や働く現場の理解	3	多様な介護現場を解説し、視聴覚教材を活用し介護現場の就業イメージをもつ。	講師1名
2(1)人権と尊厳を支える介護	5	介護における人権と尊厳を理解し、高齢者虐待・身体拘束の事例検討を通じて理解を深める。	講師1名
2(2)自立に向けた介護	4	利用者個々の能力を生かした自立支援の具体的方策を学ぶ。また介護予防の基本について学ぶ。	講師1名
3(1)介護職の役割、専門性と多職種との連携	2	介護職の目的、役割を学び専門性を理解する。医療・看護等多職種との連携の重要性を理解する。	講師1名
3(2)介護職の職業倫理	1	利用者の適切な支援のため、介護職に求められる利用者及びその家族との関わり方等を学ぶ。	講師1名
3(3)介護における安全の確保とリスクマネジメント	2	介護における安全確保とリスクマネジメントの基礎を理解し、演習を通じて具体例を学ぶ。	講師1名
3(4)介護職の安全	1	介護職がよりよいサービス提供を行うことができるよう健康管理とストレスマネジメントを学ぶ。	講師1名
4(1)介護保険制度	5	制度の基本を理解し、利用者の日常生活における介護保険サービスの位置づけを演習を通じて学ぶ。	講師1名
4(2)障害者総合支援制度及びその他の制度	2	障害者総合支援制度の成り立ち・理念、給付の仕組み、個人の権利擁護のための制度について学ぶ。	講師1名
4(3)医療との連携とリハビリテーション	2	医療と介護、それぞれの役割及びその連携、リハビリテーションの理念・目的、役割・連携を学ぶ。	講師1名
5(1)介護におけるコミュニケーション	3	コミュニケーションの基礎・技法を理解し、演習を通じてコミュニケーションの実際を学ぶ。	講師1名
5(2)介護におけるチームのコミュニケーション	3	チームアプローチの意味を学び、また事例を通じてチームケアの重要性と方法を学ぶ。	講師1名
6(1)老化に伴うこころとからだの変化と日常	3	加齢に伴う身体・精神の変化を理解し、演習により日常生活における老化の具体例を学ぶ。	講師1名
6(2)高齢者と健康	3	高齢者に多い病気と日常生活における影響、病状の基本的チェックポイント等を学ぶ。	講師1名
7(1)認知症を取り巻く状況	1.5	認知症のとらえ方とケアする側の視点と周辺状況への変化を踏まえて、向き合い方を学ぶ。	講師1名
7(2)医学的側面から見た認知症の基礎と健康管理	1.5	医学の視点から認知症の概念をとらえ、原因疾患及び病態・最新治療の動向等を学ぶ。	講師1名
7(3)認知症に伴うこころとからだの変化と日常生活	1.5	認知症利用者の日常生活への影響と心理を理解し、演習を通じて対応方法の基礎を理解する。	講師1名
7(4)家族への支援	1.5	認知症利用者の家族との関わり方・支援、レスパイトケアを事例検討を通して学ぶ。	講師1名
8(1)障害の基礎的理解	1	障害の概念とICFを学び、事例検討を通じてノーマライゼーションの理解を深める。	講師1名
8(2)障害の医学的側面、生活障害、心理・行動の特徴、かかり支援等の基礎的知識	1	肢体不自由、内部障害、視覚・聴覚障害、言語・咀嚼障害、精神障害、統合失調症、神経症性障害等、各障害の基本知識と心理を学ぶ。	講師1名
8(3)家族の心理、かかり支援の理解	2	障害の段階的受容及び障害のある人の家族の負担・要因を理解しQOL向上を目指す支援の考え方を学ぶ。	講師1名

9(1)介護の基本的な考え方	3	理論と法的根拠に基づき介護を行うことの重要性、介護保険制度と介護サービスの関係を学ぶ。	講師1名
9(2)介護に関するこころのしくみの基礎的理解	3	介護職として求められる、学習理論、記憶・感情のメカニズム、障害受容のプロセス等の基礎を学ぶ。	講師1名
9(3)介護に関するからだのしくみの基礎的理解	4	からだのしくみの基礎を理解し、演習により人体の構造やボディメカニクスの理解を深める。	講師1名
9(4)生活と家事	5	制度に基づく生活援助を理解し、演習により自立とQOL向上を意識した生活援助の理解を深める。	講師1名
9(5)快適な居住環境整備と介護	4	居住環境の基礎知識を理解し、演習により利用者の状況に合わせた住環境整備の理解を深める。	講師1名
9(6)整容に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	6.5	日常における整容の意味を理解し、口腔ケア・爪切り・衣服の着脱等の実技演習により整容行動の理解を深める。 使用備品:介護ベッド、歯ブラシ等	主講師1名 補助講師2名
9(7)移動・移乗に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	11	移動・移乗に関わる知識を理解し、車椅子でを用いた移乗・移動の実技演習により具体的理解を深める。また視覚障害者の移動支援についても実習を行う。 使用備品:介護ベッド、車椅子、歩行器、杖等	主講師1名 補助講師2名
9(8)食事に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	6.5	食事の持つ意味・食事摂取のしくみを理解し、食事介助の具体的な方法、自助具の使用法、誤嚥時の対応方法などを実技演習により理解する。 使用備品:介護ベッド、食事介助用テーブル、食事自助具等	主講師1名 補助講師2名
9(9)入浴、清潔保持に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	6.5	入浴と清潔保持の知識を理解し、入浴介助と移動、清拭、洗髪、部分浴等の実技演習を行う。 使用備品:介護ベッド、清拭用品、クレーパッド等	主講師1名 補助講師3名
9(10)排泄に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	6.5	排泄の意味・メカニズムを理解し、ポータブルトイレを用いた解除方法、紙おむつの着脱実技演習を通じて利用者の心理理解を促し、自立を意識した排せつ介護の具体的な方法の理解を深める。 使用備品:介護ベッド、ポータブルトイレ、紙おむつ等	主講師1名 補助講師2名
9(11)睡眠に関したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	6.5	睡眠のしくみ・役割を理解し、寝具の取扱い・ベッドメイクを実技演習により学び理解を深める。 使用備品:介護ベッド、寝具一式	主講師1名 補助講師2名
9(12)死にゆく人に関したこころとからだのしくみと終末期介護	5	生から死へのプロセス、終末期ケアと介護職の役割、向き合い方を学び支援方法を理解する。	講師1名
9(13)介護過程の基礎的理解	6	介護過程の目的と意義を学び、実技演習により事例に基づく介護計画の検討により理解を深める。	主講師1名 補助講師2名
9(14)総合生活支援技術演習	6	所定の2事例について分析・検討・技術演習・課題検討の一連の流れを、講義と演習の一体形式で実施し、利用者に合わせた介護の理解を深める。	主講師1名 補助講師2名
10(1)振り返り	3	講義及び演習:講義とグループワークを一体的に行うことにより研修全体を振り返り、介護業務に携わる職業人としての意識の醸成につなげる。	講師1名
10(2)就業への備えと研修修了後における継続的な研修	1	研修修了後に学んでいくことの重要性を理解し、事業所での研修事例や上位資格などステップアップの例を紹介する。	講師1名